

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	5-6																																					
PDCA	主要事業名	多文化共生推進事業	部課名	企画部市民協働課	担当	岩田																																					
					内線	236																																					
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 5 - 2 - 1 単位施策： 多文化共生社会 全体事業期間： 令和 4 年度 ~ 4 年度 全体事業費等： 7,037 千円 会計 一般会計 歳出科目： 02.01.12.19.50					目標項目（予算計上時に作成）  予算見積書で活用																																					
	事業概要等	「多文化共生プラン」に基づき、「多文化を支えるひとづくり」、「共生のための支援」、「協 事業概要： 働によるまちづくり」を基本目標に、様々な施策により外国籍市民が地域住民と共生す る多文化共生社会の実現を目指す。																																									
	事業目的：	すべての市民が国籍等を問わず互いに理解し尊重し合い、地域社会の中で活躍できるまちづくりを実現する。																																									
	事業内容：	共生のための支援として、日常生活のための日本語教室開催や相談窓口による支援、外国籍市民と交流を目的とした、ボランティア養成講座や地域交流事業を実施する。																																									
	問題点・課題等：	言葉や文化の壁などにあるため、交流する機会が少なく、地域住民と外国籍市民双方の共生意識の醸成が必要である。																																									
	予算額	主要事業とする理由																																									
	7,037 千円	多文化共生社会の実現に向け、誰もが住みやすい環境を整えるためには、外国籍市民への支援の充実を図るとともに、日本人に対して多文化共生への理解を深めてもらう必要があるため。																																									
	財源内訳	得られる成果																																									
	市費 3,131 千円	多文化共生への理解が促進され、誰もが国籍等を問わず互いに理解し、尊重し合うまちにつながる。																																									
	国費 3,449 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値や目指すべき状態</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">多文化共生サポーター（多文化共生推進に関わっている市民）</td> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>300</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位	多文化共生サポーター（多文化共生推進に関わっている市民）	実績値	—	—	—	人	目標値	—	—	300	人		実績値					目標値					その他	実績値					目標値			
目標値や目指すべき状態	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位																																							
多文化共生サポーター（多文化共生推進に関わっている市民）	実績値	—	—	—	人																																						
	目標値	—	—	300	人																																						
	実績値																																										
	目標値																																										
その他	実績値																																										
	目標値																																										
県費 357 千円																																											
その他 100 千円																																											
D 実績 得られた成果と	決算額	得られた成果																																									
	6,760 千円	多文化共生相談員やテレビ通訳での相談業務やSNSを活用した外国籍市民への情報発信を通じて、市内で生活する上での支援の充実につなげることができている。また、日本人と外国籍市民との交流等を目的とした事業などを実施することによって、地域における共生への理解の促進につなげることができた。																																									
		成果指標			令和4年度	単位																																					
		多文化共生サポーター（多文化共生推進に関わっている市民）数	実績値	424	人																																						
		目標値	300	人																																							
C 課題の整理	事業の評価・課題	<b>B</b> 相談業務は、昨年度に引き続き増加傾向にあるなど外国籍市民への支援として機能しており、SNSでの情報発信についても、窓口での相談を基にした内容を発信することができている。また、職員向けのやさしい日本語研修や日本人親子と外国籍親子の交流を目指す「多文化共生推進地域交流事業」、外国籍市民に市路線バスを体験してもらう「外国籍市民向けミニバスツアー」を実施するなど、多様な事業展開により、市民の多文化共生への理解促進に努めた。																																									
A 課題の決方向性	今後の事業の方向性	<b>拡充推進</b> 引き続き、相談業務やSNSを活用した情報発信を通じて外国籍市民への支援を行うとともに、他団体との協力・連携の強化を図り事業を実施する。また、各種事業参加者としてだけでなく、多文化共生サポーターとして自ら主体的に多文化共生の推進に取り組み、協力していただける人材の新規発掘・育成を進めていく。																																									
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																					
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減	ない																																				
	②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	余地																																						
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—																																					

評価項目（決算時に作成）  
主要施策の成果報告書で活用